



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦  
副会長 古賀 健一郎  
書記 金子 功  
会計 伊藤 誠彦  
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一  
ブリテン 古賀 健一郎  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

青木 一弘

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

(マタイによる福音書 7章 7-8節)

詩『歓喜に寄せて』がある。人間愛、同胞愛、友情といった人間同士の一体感が力強く歌い上げられている。20代後半で耳がほとんど聞こえなくなり、一度は死を覚悟したベートーヴェンが、音楽による情熱によって苦悩を克服した。俘虜たちにとって、音楽は自分の心を和らげ沈んだ心を生き生きとしてくれるものだった。友情の絆が戦友たちを互いに結びつける時、困難を克服できるのは真の友情を持つ時であり、解放力をもつ音楽が必要であった。そこに『第九』があった。なんとも言えない安らぎと慰めが流れ出てくるのを感じた。

収容所跡に、病気などで抑留中に亡くなった11人の名前が刻まれていたドイツ俘虜たちの慰霊碑があったが、戦火の中でいつしか忘れ去られていた。第二次世界大戦後、朝鮮半島で苦しみを経験した引き揚げ者の、ある日本人が茂みに埋もれた慰霊碑を発見し、異国の地で放置されたドイツ人の墓を不憚に思い墓掃除を続けた。それが後にドイツにまで知れ渡り当時のドイツ俘虜たちが大変感激し心から感謝した。それから今日までの温かい交流が孫の代まで続いている。彼らの戦争という不幸な形で始まった百年の日独関係者の交流は、未来に向けてより強い絆となって人々を結び付けている。

こうしたそれぞれの人間模様を通じて、ベートーヴェンの

### 今月のひとこと

#### 「初演から100年 ドイツ俘虜たちと第九」

古賀 健一郎



大学の友人制作の放送大学公開講座『第九を学ぶ—初演から100年 ドイツ俘虜たちと第九』と題したBSの番組は大変興味深かった。耳が聞こえなくなったベートーヴェンが、音楽を通して絶望から希望の光を見出して歓喜の曲を創りあげた『第九』。これは、日本では、第

一次大戦のさなか、徳島の板東俘虜収容所でドイツ人捕虜(当時は俘虜と呼ばれた)たちにより1918年に演奏され、日本で初演となった。当時の松江豊寿俘虜収容所長はドイツ人の俘虜たちに人道的な待遇で彼らに接し、可能な限り自由な様々な活動を許した。賊軍としての悲哀を味わった会津藩士の子弟に生まれた彼は、『敗者へのいたわり』が自然に育まれていた寛大な心を示した。『第九』の4楽章にはシラーの

### <2019年2月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13名	メン 9名 メネット 1名 コメント 0名 ビジター 1名 ゲスト 0名 合計 11名	77% (メーキャップ 1名含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 2090g 現金 1258円 年度累計 切手 2090g 現金 1258円

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

## ＜3月の行事予定＞

### 強調月間「BF、メネット」

日	曜	時間	行事内容	場所
5	火	19:00	Y-Y's 協議会	中央YMCA
9-10	土日		次期クラブ会長・部役員研修会	国立オリンピック記念センター
14	木	18:30	第一例会	中央YMCA
17	日	14:00	(仮) 横浜つるみワイズメンズクラブ設立総会	鶴見中央地域ケアプラザ
25	月	18:00	次次期部長選考委員会	中央YMCA
28	木	17:00	第二例会	中央YMCA

言葉『苦しみを超えて歓喜へ』(Durch Leiden Freude)のよ  
うに、苦境にあっても真の意味での情熱(Leidenschaft、  
Leiden は苦しむこと)をもち、真の歓喜は苦しみを超えてこ  
そあるのだと番組は伝えている。

## 「2月第一例会報告」

金子 功

日時：2月11日(月・祝) 12:00～13:15

場所：湘南とつかYMCA 404 教室

出席者：伊藤メン&メネ、今村、遠藤、大高、金子、古賀、齋藤、古田、松島

ビジター：辻ワイズ(つづきクラブ)

2月例会は横浜YMCAの会員大会が開催された2月11日、  
一人でも多くのメンバーが会員大会に参加することを期して  
会員大会当日の昼食時間に行われた。

臨時的例会とあって、開会点鐘、ワイズソング・ワイズの  
信条の唱和は省略。司会は古田会長で、当日配布されたブリ  
テンの聖句を松島ワイズに解説していただいた後、直ちにビ  
ジネスに入った。

今後3か月の行事予定を確認の後、以下の項目について確  
認した。

①2月17日開催予定の4部合同EMCシンポジウムにて古  
田会長が発題をする。

②2月16日～17日の部長沖縄公式訪問には金子ワイズが参加  
する。

③次期役員が次の通り報告された。会長：古田、副会長・創  
立90周年記念事業担当：金子、書記：古賀、会計：大高、監  
事・ファンド・創立90周年記念事業担当：松島、地域奉仕・  
Yサ事業：遠藤、国際・交流事業：大江、会員増強事業：古  
賀、ユース事業：齋藤、ブリテン：伊藤、広報：金子。次期  
部長より横浜クラブからの選出が依頼された国際・交流事業  
主査：大江。

④3月9日～10日、国立オリンピックセンターで開催予定の  
次期会長研修会には古田会長が参加する。

⑤3月17日(日)開催の(仮)横浜つるみワイズメンズクラ

ブ設立総会にお祝い金として1万円を用意する。

⑥5月例会をつづきクラブと合同で5月24日(金)～25日(土)  
に富士山YMCAで行う。

尚ビジターとして出席した辻ワイズ(エクステンション委員  
会委員長)からは横浜つるみワイズメンズクラブの設立総会  
にはできるだけ多くのメンバーが参加するよう要請された。

又東日本区宮内理事の下で検討を進めているワイズメンズ  
クラブの法人化について齋藤ワイズが検討小委員会の委員に  
推薦されていることが報告された。



横浜クラブメンバー

## 「YMCA会員大会報告」

金子 功

2月11日(月・祝)10:00～14:00、横浜YMCA会員大  
会が湘南とつかYMCAで開催され、300名を超える維持会  
員並びにYMCA職員が交流を深めるとともに、平和につい  
て考え、学び、そしてYMCAの諸活動について理解を深め  
ました。



平良愛香牧師

開会礼拝では、沖縄出身の平良愛香  
牧師(日本キリスト教団・川和教会)  
より平和のメッセージをいただきまし  
た「先ずみんなで歌いましょう」と登  
場、オートハープを奏でながら自作の  
「戦争はイヤだ、ハレルヤ」をリード  
するユニークなもので、聖書も会場で

配られたしおりに記された聖句(マタイによる福音書5章9  
節、ヨハネによる福音書16章33節)を全員で唱和しました。  
説教に替わる紙芝居は「おじいさんのできること」と題する  
10メートルにもおよぶもので、一人のおじいさんの平和への  
願いが声を上げることによって世界中に拡がるというお話で  
した。

午前中は、広島ピースキャンプに参加した子どもたちの報  
告、また、グループに分かれて平和への思いを語り合うワー



横浜YMCA 会員大会全員集合

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



クシヨップで  
した。  
昼食事には  
分かち合ひの  
食事として、  
参加者全員に  
アンジュのパ  
ン2個とレザ  
ンの缶ドリン

クが配布され募金の一助とすることが期待されました。

2階の各教室では保育事業、語学事業、高齢者事業の他、専門学校等各事業部が活動を紹介するコーナーやレクチャー、ワークショップを展開しましたが各教室とも満員の盛況でした。ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部もこの大会をPRのよい機会ととらえクラブ・バナーや紹介パンフレット等を展示して紹介に務めました。

1階ロビーの正面にSDG sのコーナーを設けてSDG sの意識を高める工夫は、横浜YMCAが本格的にSDG sに取り組む姿を表していたと思われます。

本大会は、横浜YMCAの会員事業委員会（委員長鈴木茂ワイス）が主体的な働きをして準備運営に当たりましたが、プログラムの各所に工夫が施され学びと交流の中に楽しさが溢れる素晴らしい大会でした。

横浜クラブがこの大会を例会日と定め昼食時に例会をもったことは当ブリテンの2ページに記載の通りです。

(参考)

SDG s（: Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）とは、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。2030年までに世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標と169のターゲットです。

+++++

『SDG sのコーナー』でのアンケート結果

(皆様にYMCAに期待する目標、課題を、SDG sのロゴが書かれた紙(シール)余白に自由に思いをいただき、ロビーに置いたボードに貼っていただいた。)

- ・SDG sのことについては、取り組みも良かったし、考えるきっかけになった。
- ・SDG sのことをもっと詳しく知りたいです。
- ・SDG sの取り組みは職場でもやっっていこうと思っている



ので参考になった。

- ・小さいことから取り組んで行ければと思います。
- ・SDG sの取り組み、自分のできることを一人一人考えてゆきたいです。
- ・YMCAとして取り組めること、個人として取り組めること、両方あるかと思います。SDG sを通して組織や個人でできると思うことを一つでも多く取りくんでゆくとこが大切だと考えます。

(アンケート集計)

●自分事として取り組みたい(票の多い順から)

- ①14 海の豊かさを守ろう ②3 すべての人に健康と福祉を ③1 貧困をなくそう ④10 人や国の不平等をなくそう ⑤2 飢餓をゼロに ⑥12 つくる責任つかう責任 ⑦4 質の高い教育をみんなに ⑧7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに . . . . .

●YMCAに取り組みを期待(票の多い順から)

- ①16 平和と公正をすべての人に ②1 貧困をなくそう ③3 すべての人に健康と福祉を ④10 人や国の不平等をなくそう ⑤2 飢餓をゼロに ⑥8 働きがいも経済成長も ⑦4 質の高い教育をみんなに ⑧17 パートナーシップで目標を達成しよう . . . . .

「4部合同EMCシンポジウム報告」

古田 和彦

2月16日(日)13:30~16:40、東京YMCA社会体育・保育専門学校(東陽町)において開かれた。4部とは東新部、関東東部、あずさ部、湘南・沖縄部である。日本区が東西に分かれ、東日本区ができた1997年には区全体で1246名の会員がいたが、2018年には860人に減少している。何とか3年後の2022年には1997年レベルの会員数を取り戻したい、そのために4部合同で知恵を出し合いたいということが本シンポジウムの目的である。

上記のような現状報告が伊藤幾夫東新部直前会長からなされた後、東京YMCA副総主事の星野太郎さんから、「YMCAとワイズの協調について」、YMCAからの希望として、①YMCA会員になろう、②YMCA活動に参加しよう、③取り組みの担い手になろう、との要望が述べられた。次いで、4クラブからの発題があった。1)「新しい発想で新クラブの設立を」、東京世田谷クラブの太田勝人さんから「東京町田スマイリングクラブ」立ち上げの経緯とクラブ会費を2000円とし、ファンドレイジングで会運営をする試みが述べられた。2)「いきおいクラブの成功例」、甲府21クラブの廣瀬健さんから2016年16名だった会員が2018年には30名に増えたが、地方都市の人脈活用や、プログラムの工夫による団結力の必要性が述べられた。3)「老舗クラブの苦悩」、横浜クラブ古田からクラブの現状報告と献金主体から活動主体への転換の試み、会費の見直しなどを行っていることを報告した。4)「クラブの再生・再活性化」、千葉クラブ徳永浩一さ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

んから「千葉ウエストワイズメンズクラブ」設立に向けて新しい地域への取り組みが紹介された。

参加者は4部だけでなく、次期日本区理事や北海道部、富士山部からも含め、63名の参加者があり、活発に意見交換され、参加者一同で決意表明を採択して閉会した。また、現千葉クラブの高田一彦さんも来ており、久しぶりの再会を喜び合った。当クラブからの参加者は古田和彦であった。

## 「部長沖繩公式訪問報告」

金子 功

今年度の部長沖繩公式訪問は2月16日(土)～17日(日)佐藤節子部長ほか7名の部員(横浜2,厚木3,八景1,つづき1)と宮内友弥理事の9名で行われた。理事が部長公式訪問に参加するのはまれなことで、宮内理事の沖繩に対する関心の深さを示すものであった。

合同例会は午後6:00より沖繩YMCAで行われた。司会は沖繩那覇クラブの比嘉善彦ワイズ。開会点鐘は沖繩那覇クラブの玉城哲人会長であった。ワイズソング、ワイズの信条を唱和した後、沖繩那覇クラブの会員でもある芳澤信牧師(神和志教会)より奨励の言葉をいただいた。沖繩那覇、沖繩両クラブの会長より活動の近況報告を受けた後、佐藤部長と森田幸二郎次期部長(沖繩クラブ)が挨拶した。

佐藤部長は同日東京YMCAで行われた4部合同EMCシンポジウム、横浜つるみワイズメンズクラブの創設等会員増強運動の近況を伝え、今回合同例会で紹介された沖繩クラブへの入会者を歓迎した。森田次期部長は一行の沖繩訪問を歓迎し、引き続き沖繩に対する理解を求めた。宮内理事は、自己紹介をした後、東日本区の会員数を2022年までに発足当時の1,246名の目標に近づける計画を語り、Servant Leadershipについて熱く語った。

第1部終了間際、佐藤部長が辻剛エクステンション委員長から預かってきた親書を森田次期部長に手渡す場面があった。親書の内容は沖繩にも新クラブを創る努力を要請するものであった。YMCAの歌を歌い、宮里伸一郎会長(沖繩クラブ)の閉会点鐘をもって第1部は終了した。

第2部は懇親・交流会で屋良ワイズ(沖繩那覇)の司会で始められた。並び替えられたテーブルには所狭しと、例年通り大森節子ワイズ(沖繩那覇)手作りのご馳走が並ぶ懇親・交流会



ならべられ、食前感謝が捧げられた。鈴木茂ワイズ(つづき)による乾杯の発声のあと、知念一郎沖繩YMCA理事長よりご挨拶をいただいた。理事長は辺野古埋め立ての是非を問う沖繩県民投票が近づいてきたことから「プラハの春」や「アラブの春」を引き合いに「沖繩県民投票の春」への期待を述べた。

余興では芳澤牧師が奏でるサンシンの演奏と皆で歌う沖繩民謡を楽しみ、参加者全員が挨拶する機会も与えられた。今回は沖繩クラブからも5人のメンバーが参加したが、これは過去に例がない画期的なことであった。ほぼ定刻の午後8:00にお開きとなり、二次会へと移動した。

翌17日(日)は、沖繩那覇クラブが準備したエクスカージョンを沖繩YMCAの小型バスで案内していただいた。「世界遺産・座喜味城跡」ほか「チビリガマ」「さとうきび畑記念碑」等沖繩の歴史と戦争の爪痕を見学する学びのエクスカージョンであった。

今回お世話になった沖繩の両クラブの皆様にご心から感謝いたします。

## 「東日本区ワイズ基金の理解を求めて」

金子 功

皆様、東日本区の常置委員会の中に文献・組織検討委員会、および、LT委員会と並んで東日本区ワイズ基金委員会があることをご存知でしょうか。委員会の名前は聞いたことがあってもその中身まで理解しているワイズの仲間の少ないことに気づき、今回、ブリテンを通して皆様のご理解を促すことにしました。

JEFについてはロースターのワイズ用語の項目で次のように解説されております。「東日本区ワイズ基金は、東日本ワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるため、個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事等のときの拠金が基になっている。寄付者氏名とその理由を「奉仕帳」に記帳し永久保存される。」とあります。委員会はその基金の管理、運営のために設置されております。

私は、委員を拝命して今年で3年目になります。委員長は、今年度から我が横浜クラブの大先輩高田一彦ワイズです。私は、委員として、これまでたいした働きもしてこなかったことを反省し、また、高田ワイズと同じ委員会で働くことに喜びを感じ多少なりとも委員会のお役に立つことを念じてこの文をしたためております。

今年度のJEF基金募金の目標額は昨年同様500,000円です。但し、現時点での集計額は180,000円で、大幅に目標額を下回っています。募金期間は5月末日ですのでこれから最後のドライブをかけなければなりません。

基金活用の実績としては、最近では、YMCA東山荘100周年記念募金、また、数年前には国際大会・国際交流活動で使用する同時通訳機器の購入に当てられました。横浜クラブとしては最早10年近く前になりますが、クラブ創立80周年を記念して8万円を基金のために寄付した経緯があります。皆様のご理解をよろしく願いいたします。

今月の使用済み切手約 2kg の大半は、中央YMCA運営委員の富山姫路子さんが集めて下さったものです。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

(参考)

『BF (Brother Fund)』

BF 代表や国際役員が公式の旅行をするために積み立てられた基金。全世界のワイズメンの参加によって、使用済み切手を集め整理して、切手市場で換金する方法。

「チラシ配り」  
(ピンクシャツデーイベントにて)

古田 和彦



2月27日、水曜日の午後、横浜駅地下2階そごう前の広場に出かけました。ワイズとYMCAで作ったピンクのシャツを着ていきました。横浜YMCAのみならず神奈川県、横浜市の方々もご一緒に、ピンクシャツデーのイベントです。

午後1時集合と言われていたのですが12時半ごろに行くと、もう、チラシを配っている人がいるので、私もまずは数枚のチラシを受け取って、通行人に配りはじめました。チラシを受け取ってもらうのも簡単ではないですね。初めは素通りされることが多かったのですが、だんだんコツを覚え、かなりの枚数を手渡すことができました。

「ピンクシャツデーって何ですか?」「はい、いじめをなくす運動です」。それだけで納得しない人には、「カナダの学校でピンクのシャツを着た男の子がゲイといじめられました。それを知った仲間が翌日みんなでピンクシャツを着て学校にいきました。また、驚くことにメール等で知った仲間もピンクのものを身に着けていき、いじめられた人に連帯した

のでした。いじめた人やつづけるのでなく、いじめられた人に連帯するという運動がおこったのです。この運動は今や全世界に広がり、2月の最終水曜日をピンクシャツ



デーとして、神奈川でもこのようにいじめ撲滅運動として行っています。弱虫の私も、いじめられた人に連帯することならできると思い参加しています。」などと言ってチラシを配りました。

イベントには、いじめられた経験者のトークや音楽、女優の五代路子さんのアピールなどもあり、道行く人々にピンクシャツデーの意味を知ってもらうことができました。爽やかな疲れを感じたひと時でした。

日時: 2月28日(木) 17:00~18:30

場所: 横浜中央YMCA501号室

出席者: 青木、伊藤、大高、金子、古賀、齋藤、古田

協議・確認・検討事項

①今後の行事予定の確認

②3/9~10次期クラブ会長研修会(於: 国立オリンピック記念センター)、古田会長は日本YMCA同盟理事会のため欠席となる。

③3月の例会

・クラブの例会は3月14日(木)を予定しているが、当日は日程変更されたYMCA常議員会(クラブから数名が参加)と重なるが、日程変更せず予定通りに開催。弁当手配は青木主事が担当。

・卓話者はYMCA職員の長田光玄氏。「横浜YMCAチャリティ・ラン」と題して。

④3/17(日) 横浜つるみワイズ設立総会への対応 14:00~16:00 於: 鶴見中央地域ケアプラザ。参加者の取りまとめ。お祝いは他クラブの動向等を見て改めて検討する。

⑤4月ブリテン編集計画

⑥5月第一例会をつづきクラブと合同(5/24~25 於: 富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ)にて実施することを再確認。クラブ内での参加者への案内、車の手配の準備。

⑦5月第二例会を5月9日(木)とすることにした。

⑧ロースターに関する意見の集約として、横浜クラブとしては、改正個人情報保護法と経費節減の観点から、『名簿作成の時、各クラブ員に対し、個人情報のうち、どの部分を載せて良いかの同意を徹底する。名簿は運営面の都合上クラブの役員が保管し、全員配布は見直す』とした。また次回の部評議会には、同じような趣旨から、『ロースターの規則集部分と名簿部分を切り離して発行。規則部分は変更時にその箇所を公表し、名簿部分は全員配布の見直しを望む』との内容で部に提案することとした。限られた予算の中で、費用の削減部分をワイズにとって最も必要とされる活動分野に振替えていくことに主眼を置きたい。

尚、今回は、弁護士でもある齋藤ワイズから本案件へのご助言をいただいた。



担当主事 青木 一弘

○YMCA会員大会 終了報告

今年度もYMCA会員大会へのご協力ありがとうございました。子どもから大人まで、どなたでもともに楽しめる内容として、これまでとは少し違う新たな試みでしたが、いかがでしたでしょうか。プログラム会員の皆さんや、ワイズ、各委員の方、スタッフ、一般の方と交流し、平和を感じる機会であったならば幸いです。(当日の参加者は約300名でした。) 私たち一人ひとりが「平和」を求め、みつけ続けることは、

「思い」や「行動」につながり、そして、一人ひとりから世界が「平和」になり、よくなっていくことをあらためて学ぶことができた大会であったと思います。

○ピンクシャツデー報告



今年のピンクシャツデーは、2月27日でした。全国のYMCA Aピンクシャツデーと共に、横浜YMCAでは、2月から、県内50カ所の、各YMCA活動拠点で、いじめについて考える取り組みを行いました。神奈川県内のNPO、教育関係団体、神奈川県、横浜市などの行政、さらに神奈川を代表する多くの企業とともに、ピンクシャツデー神奈川推進委員会を立ち上げ推進しています。2月27日は、マリントワー、み

などみらいコスモクロックも昨年に続きライトアップしていただき、そごう前広場でのファイナルイベントが行われました。



ライトアップされたコスモクロック

(イベント会場に掲示されていた中学生の寄せ書き)



中学生の愛情に満ちた数々のメッセージの温かい言葉でピンクシャツが作られた。今なお、他の人の尊厳や命を踏みこじめる事件は後を断たない。また、いじめにあって救いを求めて私の教会学校に通ってきた子どものことも思い出す。彼らの寄せ書きは私の心に響いた。  
(横浜YMCA レイパーソン 古賀健一郎)

○イースター早天礼拝のお知らせ

下記のとおり、横浜YMCA・YWCA合同イースター早天礼拝を行います。是非ご参加ください。

日時 4月21日(日) 午前7時~7時45分

※7時50分より茶話会/8時30分より外国人墓参

会場 横浜中央YMCA 9階チャペル

メッセージ:宮川 周子牧師(日本基督教団 横浜本牧教会)

参加費 500円

○中央YMCAキックオフミーティングのお知らせ

中央YMCAでは、2019年度のプログラム開始にあたり、各部のスタッフや運営委員の方々が集い表記ミーティングを予定しています。会では、今年度の方針・計画の確認や軽食をとりながら歓談のひとつ時を予定しています。ワイズの皆様も是非ご参加ください。

日時 4月4日(木) 午後5時~

会場 横浜中央YMCA 8階ラウンジ(軽食の用意があります)

3月例会プログラム

日時:3月14日(木) 18:30~20:30

場所:中央YMCA 606教室

司会:今村ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古田会長
  2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
  3. 今月の聖句.....青木ワイズ
  4. ゲスト・ビジター紹介.....古田会長
  5. 食前感謝.....青木ワイズ
  6. 食事
  7. 卓話「横浜YMCAチャリティ・ラン」  
YMCA職員 長田光玄氏
  8. ビジネス・報告.....古田会長
  9. Happy Birthday 金子久子(3)、古賀智子(3)  
遠藤三起子(10)、金子功(10)、古田和彦(22)
  10. 閉会点鐘.....古田ワイズ
- 例会報告:伊藤ワイズ

4月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	18:30	第一例会	中央YMCA
20	土	14:00	部評議会	中央YMCA
25	木	17:00	第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。  
メール aoki\_kazuhiro@yokohamaymca.org  
電話 045-641-5785